

外国語科学習指導案

東広島市立松賀中学校
場 所 2年1組教室
教 諭 中村 麻奈美

- 1 日 時 平成28年10月7日(金) 3校時
- 2 学 年 第2学年1組(男子20名, 女子16名 計36名)
- 3 単元名 Program 5 Gulliver's Travels Sunshine English Course 2 [開隆堂]

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、ガリバー旅行記を読んでいるマイクが由紀に本の内容を説明したり、ウッド先生がガリバー旅行記に関係した場所のエピソードについて話したりする内容である。本の内容や観光名所を話題に、相手に提案したり助言をしたりするという場面で構成されているため、If～, you should … や When ～, you will … 等の相手に提案できる表現や、You can see … や You' ll enjoy … 等、場所について説明できる表現も多く用いられている。

言語材料としては、人やものの存在を説明する There+be 動詞～. 構文や、when や if 等の時や条件を表す接続詞を用いた複文が扱われている。そのため、事物を説明したり、条件や相手の状況及び意向に応じた提案や助言をしたりする表現を学ぶのに適した単元であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、これまでに身近なことを話題にペアで質問したり説明しながら会話を継続することや、相手の意見に対して賛否を述べたり、他者の意見と関連付ける等して自分の意見を述べたりする話し合いの方法等を学習してきた。また、毎時間、3分程度の Chat time を実施している。これらの学習や活動を通して、英語でのやりとりに慣れてきた生徒が多く、本校独自の生徒意識調査における調査項目「英語で話すことに慣れてきた」については 95%、「友達と英語で会話をするのが好き」については 86%の生徒が肯定的回答をしている。「話すこと」の言語活動における発話の場面や、Chat time の活動においても、既習事項を活用しながら意欲的に活動に取り組み、会話をする姿が見られる。会話の中では、Are you ～? や Why did you～? 等の相手の状況を尋ねる質問や、Do you like～? や What is your favorite ○○?等の相手の意向を尋ねる質問を場面に応じて用い、会話を進めることはできている。しかし、単純な質疑応答は行えるものの、相手の発話内容を基に情報を加えて説明をしたり、提案や助言をしたりする姿はほとんど見られない。また、相手の発話内容を踏まえた会話ができにくい生徒もおり、ペアになる相手によっては会話が成立しにくい状況も見られる。さらに、14%の生徒は相手の発話内容が十分に理解できず沈黙してしまう、発話に時間がかかる等、学習事項の理解や定着の不十分さが原因で発話に自信が持てない状況が見られる。

また、新出の言語材料を理解する上で必要な複文の文構造の理解については、I think (that)～の文構造において 66.6%の生徒が十分に活用できるまで定着している。しかし 33.4%の生徒においては従属節の主語、動詞の欠落や意味内容の捉えにつまずいており、定着が不十分な状況である。これは複文そのものの構造が十分に理解できていないことが原因と考える。

(3) 指導観

指導にあたっては、実際のコミュニケーション場面で使用する英語表現を大切にするために、相手の状況や意向に合わせて提案や助言、説明をする場面を設定し、相手意識をもったやりとりに留意した指導を行う。そのため本単元では、条件や相手の状況及び意向に応じた提案や助言、事物の説明等の表現に着目させながら教科書の本文を読み取らせていき、会話における効果的な表現の活用を通して定着を図る。

本単元の言語活動としては、「西条に来ている外国人にアドバイスをしよう」という活動を行う。本言語活動では、①会話の中で相手の状況や意向についてできるだけ多くの情報を引き出し、②相手意識を持った提案や助言、事物の説明ができるよう指導をする。さらに、一問一答の質疑応答のやりとりだけでなく、複数文での説明や相手への気持ちを伝える等、様々な方法を活用しながら、自ら積極的に会話を進める力の育成も図りたい。その際、円滑なコミュニケーションを図るために、流暢さだけでなく発話の正確さも留意させたい。

また、会話を継続するために必要な言語材料についても、丁寧な指導を行いたい。複文の構造を分かりやすく理解させるために、様々な場面や状況を設定し、インプットしたことを言語活動の中で活用することを通して定着を図りたい。さらに、その活用を踏まえ、会話の継続が広がることも体感させたい。特に、苦手意識のある生徒への手だてとして、既習表現及び新出表現のインプットを段階的に丁寧に行い、発話につなげられるよう指導を行いたい。毎時間の Chat time においては、相手への提案や説明、事物を描写することを話題に取り上げ、学習事項を踏まえた会話を行うことに慣れさせると共に発話に自信を持たせたい。

評価については、別課題によるパフォーマンステストを実施する。新しく着任した ALT の状況や意向に応じて、適切なアドバイスをしながら会話をすることができるかを判断する。

5 CAN-DO リストとの関わり

第2学年 「話すこと・やりとり」 3

興味のあるものや関心のあること等の身近で日常的な話題について、簡単な質問や説明をする表現等を用いて、対話を続けることができる。

6 単元の目標

- (1) 相手の状況や意向に応じた適切な提案や助言をする。【外国語表現の能力】
- (2) ペアワークにおいて、間違いを恐れず話す。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (3) ①時や条件を表す接続詞 when, if を用いた複文の構造を理解する。
②There+be 動詞+～を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ペアワークにおいて、間違いを恐れず話している。	相手の状況や意向に応じた適切な提案や助言をすることができる。		①時や条件を表す接続詞 when, if を用いた複文の構造を理解している。 ②There+be 動詞 ～を用いた文の構造を理解している。

8 指導と評価の計画（全7時間）

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・言語活動の場面や目的について知る。 ・ Warm-up として、ペアで助言をしたり励ましたりするなどの対話をする。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
2	○西条の街について説明する。 ・教科書本文を通して There+be 動詞+～.の文構造とその用い方を理解する。 ・地図や絵を参考にし、西条の街を説明する。	エの②	後日ペーパーテスト
3	○お勧めの場所について具体的に説明する。 ・教科書本文を通して接続詞 when を用いた複文の構造とその用い方を理解する。 ・西条のお勧めの場所について具体的に説明する。	エの①	後日ペーパーテスト
4	○条件の内容に合う場所について説明をする。 ・教科書本文を通して接続詞 if を用いた複文の構造とその用い方を理解する。 ・条件の内容に合わせた自分の提案について説明する。	エの①	後日ペーパーテスト
5	○相手に具体的に質問をして状況や意向を尋ねる。 ・既習事項を用いて相手の状況や意向を尋ねる。 ・相手に聞き返す等して正確に理解する表現を練習する。 ・ペアを変えながら会話をする練習をする。	ア	活動の観察
6	○相手の状況に応じた提案や助言をする。 ・相手の状況や意向に応じた提案や助言をする練習をする。 ・確認をしたり繰り返したりして相手の理解を確認する表現を練習する。 ・ペアを変えながら会話をする練習をする。	イ ア	後日インタビューテスト 活動の観察
7 本時	○相手の状況や意向に応じた、適切な提案や助言をする練習をする。 ・相手の状況についてより多くの情報を得るための質問をする。 ・ペアで既習表現を用いて会話をし、相手に応じた適切なアドバイスを する。 ・より多くの情報を加えて説明する練習をする。 ・ペアを変えながら様々な相手と会話ができるよう練習をする。	ア イ	活動の観察 後日インタビューテスト
後日	<パフォーマンステスト>校内でALTと行う。 相手の状況や意向に応じた適切なアドバイスをしながら、会話を する。	イ	インタビュー テスト
	<ペーパーテスト>単元末テスト ◇時や条件を表す接続詞 when, if を用いた複文の文構造について の理解を見取る。 ◇There+be 動詞+～を用いた文の構造についての理解を見取る。	エの① エの②	ペーパーテス ト

9 本時の展開

本時の目標： 相手の状況や意向に応じた、適切な提案や助言をすることができる。		
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点(◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
(1) あいさつ (2) Warm-Up Chat time	◇英語を話しやすい明るい雰囲気作りに努める。 ◇簡単な英語のやりとりを通して英語のリズムに慣れさせる。 ◇生徒同士でインタラクティブに会話ができているか確認をする。 ◇相づちやつなぎ言葉を使用し、会話を継続しようとする意識を持たせる。 ◆机間指導し、発話を助ける。	
(3) 本時の目標とゴールの確認	<p><u>本時の目標</u> 相手の状況や意向に応じた、適切な提案や助言をすることができる。</p> <p><u>本時のゴール</u> ①相手に応じた適切な提案や助言をすることができる。 ②相手に必要な情報をより多く伝えることができる。</p>	
(4) 前時までの復習 ・会話に必要な質問表現と答え方、アドバイスを表表現を練習する。	◇会話に必要な基本的な表現を復習し、口頭練習させる。 ◆複文の表現については、意味理解も加えながら口頭練習をさせる。	
	<p>《活用する表現》</p> <p>(提案する) You should...</p> <p>(助言する) If you like~, you can.../ When you ~, you should ... Why don't you~?</p> <p>(勧誘する) You must...</p> <p>(できることを伝える) You can.../ You will...</p> <p>(情報を伝える) There is (are)... It has ...</p>	
(5) ペアでやりとりをする練習をする。 ・学習した表現を用いて、ペアでやりとりをする練習を行う。	◇状況や場面の設定を確認させる。 ◇相談をする人、提案・助言をする人を決め、練習をさせる。 ◆机間指導をしながら意見を述べる練習をさせる。	
・モデルの会話を聞く。	<p>生徒の発話例</p> <p>A: Hello. May I help you? B: Yes, please. I want to eat lunch in Saijo, but I don't know any good place. Do you know? A: OK. What kind of food do you want to eat? B: I want to eat some Japanese food. A: Do you eat fish? B: Yes. A: If you like fish, you should go to sushi restaurant. B: That's great! I will go to sushi restaurant.</p> <p>◇相談に対して具体的に質問をしていることをほめる。 ◇相手の意向に即した提案や助言であることをほめ全体</p>	

<p>(6) 相手の意向や状況に応じた提案や助言をすることを確認する。</p> <p>(7) 場面設定を変え、ペアで会話をする練習をする。 ・学習した表現を用いてやりとりをする練習をする。</p> <p>・モデルの会話を聞く。</p> <p>(8) 提案や助言について情報を加えて説明することを確認する。</p> <p>(9) 場面設定を変え、ペアで自由に会話をする。 ・ペアを入れ替えながら様々な相手と会話をする。</p>	<p>で共有する。</p> <p>◇モデルのペアのやりとりを聞き、提案の仕方に気付き、それを基に自分達のやりとりを考えさせる。</p> <p>◇相手に具体的な質問をする等して相手の意向に応じた提案や助言をすることを確認する。</p> <p>◆具体的な質問の例を挙げヒントを与える。</p> <p>◇ペアと場面を変え即興的なやりとりとなる環境を作る。</p> <p>◇板書した既習表現に頼ることなく、会話をさせる。</p> <p>◇ペアでより具体的な提案や助言、説明をさせながら会話をするよう促す。</p> <p>◇相手の発話内容により会話の展開が変わることに気づかせる。</p> <p>◆ヒントを出し会話をさせる。</p> <p>◇相手からの相談に応じた適切な質問をしたり、提案や助言に多くの説明を加えしたりしていることをほめ全体で共有する。</p> <p>◇相手により多くの情報を提供し説明することで、提案により賛同してもらえるようになることを確認する。</p> <p>◇相手の相談に対して選択肢をもった提案をすることも可能であることに気づかせる。</p> <p>◇本時のゴールを再確認し、活動に移らせる。</p> <p>◆相手の状況や意向を具体的に質問する、相手に応じた提案や助言をするよう確認をしてから活動に移らせる。</p>	<p>イ 後日インタビューテスト</p> <p>ア 活動の観察</p>
<p>生徒の発話例（ゴールイメージ）</p> <p>A: Hello. May I help you?</p> <p>B: Yes, please. I am traveling in Hiroshima and I have a free time this afternoon. Where is the good place in Saijo?</p> <p>A: Well... how long can you stay in Saijo?</p> <p>B: I can stay here for 3 hours.</p> <p>A: Can you drive a car?</p> <p>B: No, I can't. I don't have a car.</p> <p>A: Do you like to try new things?</p> <p>B: Of course. I like to try new thing.</p> <p>A: Did you try Japanese sake?</p> <p>B: No, I didn't. Is it good?</p> <p>A: Saijo is famous for Japanese sake. If you can drink sake, you should go to Sakagura Street. There are many sake factories on Sakagura Street.</p> <p>B: OK. That's good. But where is it?</p> <p>A: It's near Saijo station. When you walk the main street, you will see the sign.</p> <p>B: Thank you. I will go there.</p>		

<p>(10)まとめと振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの視点で振り返りをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇本時のゴールが達成できたかどうかを確認する。 ◇単元のまとめとして、本単元で身に付けた力について再度振り返る。 ・パフォーマンステストについて伝える。 	
--	--	--

10 板書計画

October 7th
Friday
Sunny

Chat time
topic

Today's aim: 相手の状況や意向に応じた, 適切な提案や助言
をすることができる。

(提案する) You should... / Why don't you~?
(助言する) If you like~, you can... / When you ~,
you should ...

(できることを伝える)
You can.../You will...
(そこにあるものを伝える)
There is (are)...

Goal:
①相手に応じた適切な提案や助言を
することができる。
②相手に必要な情報をより多く
伝えることができる。

11 単元末パフォーマンス課題と評価

パフォーマンス課題： ALT の Cody 先生の状況や意向に応じ、週末のプランについて適切なアドバイスを
 する。

評価規準： イ 外国語表現の能力

相手の状況や意向に応じた適切な提案や助言をすることができる。

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 正確な英語表現を用いて会話の中で、相手の状況や意向に合わせた適切な提案や助言をすると共に、付加情報を加えるなどして会話を発展させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話の中で、相手の状況や意向に合わせた適切な提案や助言をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話の中で、相手の状況や意向に合わせた適切な提案や助言をすることができると認められない。
実際の生徒の姿	<ul style="list-style-type: none"> 正確な英語表現を用いて相手に応じた提案や助言をしている。 相手にとって必要と思われる情報を更に加えて説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に応じた提案や助言をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に応じた提案や助言をしていない。
生徒の発話例	<p>T: I'm free this weekend. Where should I go? S: What do you want to do? T: I like shopping. S: If you like shopping, you must go to Fuji Grand. Fuji Grand has many shops. For example, you can buy clothes, shoes, CDs and foods. What do you want to buy? T: Ummm... I want to buy magazines. S: OK. You should go to TSUTAYA. They have a lot of magazines. Also you can buy CDs too. T: Oh, really? CDs? S: Yes. Do you like listening to music? T: Yes, I do. I like Japanese pops and Japanese animes. S: What anime do you like? T: I like <i>Pokemon</i> and <i>ONE PIECE</i>. S: Do you like movies too? T: Yes! I love it. S: I think Fuji Grand is the best. Because Fuji Grand has a movie theater too. If you go to the theater this weekend, you can see <i>ONE PIECE</i>. T: Wow!! That's nice!! I'll go to the movie theater. S: Have a nice weekend!</p>	<p>T: I'm free this weekend. Where should I go? S: What do you want to do? T: I like shopping. S: If you like shopping, you must go to Fuji Grand. T: I want to buy magazines. Can I buy magazines? S: Yes, you can. When you go to TSUTAYA in Fuji Grand, you can buy magazines. T: Oh, really? S: Yes. What kind of magazine? T: Travel magazines. S: Do you like traveling? T: Yes! I love traveling. S: There is a travel shop in Fuji Grand. T: Really? That's perfect! I'll go to Fuji Grand this weekend. Thank you. S: You are welcome! Have a nice weekend!</p>	<p>T: I'm free this weekend. Where should I go? S: I think Kamo ball is good. Bowling. T: OK. But I don't like bowling. S: How about karaoke? T: Well... I like shopping. So I want to go shopping. I want to buy magazines. S: OK. Let's go to Fuji Grand. T: OK.</p>

英語教育強化地域拠点事業【東広島地域】CAN-DO リスト

平成 28 年 7 月 21 日

校種		小学校	中学校			高等学校		
学年		高学年	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
聞く		1 ゆっくり（または繰り返して）はっきりと口頭活動で既に取り扱っている英語で話されれば、身近でなじみのある話題のプレゼンテーション等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	2 ゆっくりはっきりと話されれば、身近でなじみのある話題や人物インタビュー等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	3 ゆっくりはっきりと話されれば、身近な出来事や体験したことを話題にしたスピーチ等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	4 はっきりとなじみのある発音で話されれば、学習材として扱ったなじみのある話題に関するプレゼンテーション等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	5 自然な速さの標準的な英語で話されれば、学習材として扱ったなじみのある話題に関する発表等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	6 自然な速さの標準的な英語で話されれば、社会的な出来事や話題をテーマにした発表等を聞いて、概要や要点を理解することができる。	7 自然な速さの標準的な英語で話されれば、時事問題や社会的事象についての発表や講義を聞いて、概要や要点を理解することができる。
	話す	1 必要な情報を整理した後であれば、好きなものや得意なこと等の身近でなじみのある話題について、目的に応じて質問をしたり答えたりすることができる。	2 好きなものや得意なこと等の身近でなじみのある話題について、基礎的な表現を用いて、質問したり答えたりすることができる。	3 興味のあるものや関心のあること等の身近で日常的な話題について、簡単な質問や説明をする表現等を用いて、対話を続けることができる。	4 聞いたり読んだりしたことのある話題について、意見や理由を述べる表現等を用いて、感想や考えを交流することができる。	5 人間・社会・自然等の話題について、絵やもの等を用いて適切に情報を提示し、意見交換を行うことができる。	6 人間・社会・自然等の抽象的で幅広い話題に関する相手の意見について、まとまりのある文章を用いて、意見交換を行うことができる。	7 新聞やテレビに取り上げられる程度の話題に関する多様な意見について、立場を決めて相手を説得するための意見交換を行うことができる。
読む	発表	1 前もって用意された内容であれば、自分や自分の学校のこと等身近でなじみのある話題について、プレゼンテーション等を行うことができる。	2 前もって準備した上で、自分のお気に入りのもの等の身近でなじみのある話題について、簡単な語句や文を用いて、複数の文で説明することができる。	3 前もって準備した上で、体験したことや興味のあること等の身近な話題について、簡単な語句や文を用いて、順序良く紹介することができる。	4 前もって準備した上で、聞いたり読んだりしたことのある話題について、論理的な展開となるような語句を用いて、理由や根拠と共に意見を述べるすることができる。	5 前もって準備した上で、聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりした話題について、事実とそれに対する自分の意見を区別して、述べるすることができる。	6 前もって準備しておかなくても、社会的な出来事や話題について、その概要をまとめ、話題に対する自分の意見を効果的に述べるすることができる。	7 前もって準備しておかなくても、社会的な出来事や話題について、その要点をまとめ、自分の経験と関係付けながら自分の意見を効果的に述べるすることができる。
	読解		1 必要に応じて辞書を使えば、自分に興味のあることなどについて書かれた簡単に短い説明文を読んで、内容を理解することができる。	2 必要に応じて辞書を使えば、時間の流れに沿って書かれた短い物語文や伝記を読んで、あらすじを理解することができる。	3 必要となる語句を調べたりすれば、人物、場所、文化や日常生活等について書かれた紹介文を読んで、概要や要点を理解することができる。	4 必要となる語句を調べたりすれば、学習材として扱ったなじみのある話題に関する文章を読んで、必要な情報を取り出したり、概要や要点を理解したりすることができる。	5 必要となる語句を調べたりすれば、社会的な出来事や話題について書かれた記事を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点を理解したりすることができる。	6 必要となる語句を調べたりすれば、時事問題や社会的事象を取り扱った論説文を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点を理解したりすることができる。
書く			1 簡単な語句や文を用いれば、自分のお気に入りのもの等の身近でなじみのある話題について、複数の文で説明文を書くことができる。	2 簡単な語句や文を用いれば、体験したことや興味のあること等の身近な話題について、順序良く紹介文を書くことができる。	3 学習材として扱った程度の語句や文を用いれば、聞いたり読んだりしたことのある話題について、論理的な展開となるように、理由や根拠のある意見文を書くことができる。	4 必要となる語句を調べたりすれば、聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことのある話題について、論理に一貫性のある文章を書くことができる。	5 必要となる語句を調べたりすれば、社会的な出来事や話題について、事実と意見を明確に区別して、目的に応じてまとまりのある文章を書くことができる。	6 必要となる語句を調べたりすれば、時事問題や社会的事象について、目的に応じてまとまりのある文章を書くことができる。

青字 : condition / 赤字 : text / 緑字 : task